

# 初任研 だより

糸島市立一貴山小学校  
平成27年12月3日(木)  
安河内 勇一

## 4年1組の子どもたち、寺山先生ありがとうございました！

【単元名】 「読んで考えたことを話し合おう～本の紹介カードを作ろう～」

【教材文】 「ごんぎつね」

【本時展開】

1 前時までの学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。  
(1) 前時までに学んだ学習内容を想起し、単元のゴールを確認すること。

(2) 本時のめあてを確認すること。

ごんと兵十の心は通じ合ったのかを読み取り、⑥場面のキャッチコピーを考えよう。

2 「6」の場面を音読する。

3 ごんと兵十の行動や気持ちが分かる叙述に着目する。

【おれは引き合わないなあ】(⑤の場面)

・ **せっかく持っていたのにわかってくれず、残念だ。**

・ **栗を置いたのは自分だといつかは分かってほしい。**

【その明るく日も・・・兵十のうちへ出かけました。】

・ **分かってもうえなくても、償わなければならない。**

・ **きっとわかってくれるだろう。**

【こないだ・・・ぬすみやがった・・・ごんぎつねめが・・・いたずら】

・ **魚やうなぎのいたずらの時から。**

・ **ぬすっとぎつねのやつがまたきやがった。許さないぞ。**

【ようし・・・】

・ **許せないやつだ。やっつけてしまえ。**

【兵十はかけよってきました。】

・ **いたずらきつねめは、死んだか？**

・ **何か盗まれていないか？**

【くりが固めて】

・ **ごんが大事にそおっと置いたから。**

4 ごんと兵十の心は、通じ合ったのか話し合う。

・ (ごん) **やっとわかってくれた。よかった。**

**やっとぼくの償いが伝わった。**

・ (兵十) **お前だったのか。悪いことをした。**

**本当は、いいやつだったんだな。**

5 「6」の場面のキャッチコピーを考える。

・ 「**かわいそうなごん**」最後に殺されてしまってかわいそうだから。

・ 「**わかってもらえたごん**」命をかけて償いをして、最後に兵十にわかってもらえたから。

6 学習のまとめをする。

○ 兵十の気持ちの移り変わりに気をつけて音読すること。



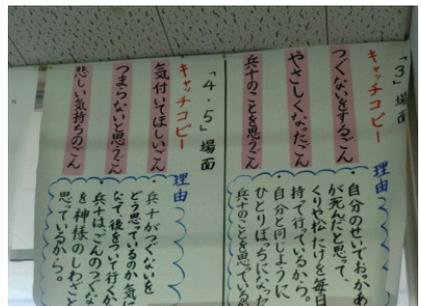
【前時の振り返りの様子】



【人物の気持ちを考えるの様子】



【全体交流の様子】



【既習図】

## 【寺山先生の自評】

本時学習のねらいを達成するために以下の手立てを講じた。

手立て① 毎場面「～なごん」というキャッチコピーとその理由を書かせた。

手立て② 叙述をもとに気持ちを考える為にサイドラインを引いたり、書き抜いたりした。

手立て③ 読みのめあてを設定した。(考えが多く出るような発問の工夫)

達成度は、3, 4割程であった。判断理由は、子どもたちがゴンの気持ちを「やっとわかってもらえた。」まで至らなかったことと、挙手が少なく発言が限られたから。

## (研究協議会における意見)

- ・「心は通じ合わなかった」と発言した内容を取り上げて、交流を深めていくべきだった。
- ・既習図はとてもわかりやすく子どもたちにとって効果的なものであった。板書も色使いに気をつけてよかった。
- ・キャッチコピーを活用する授業をはじめて見たが、とてもおもしろかった。
- ・子どもたちのプリントに書く量と丁寧さは、すばらしかった。
- ・6の場面が一番難しい。1から5の場面は、ごんの視点で、6の場面は、兵十の視点も入るから。
- ・サイドラインの引き方の指導を色を変えるなどの工夫が必要であった。
- ・「心が通じ合ったのか？」の話合いでは、もっと子どもたちから考えを引き出さなければならない。
- ・キャッチコピーの理由をもっともっとたくさん子どもの言葉で聞きたかった。

### [教頭先生より]

- ・本時の振り返りで児童が発言する内容を教師が明確にもつことが必要である。
- ・既習図と板書が手書きのよさがあふれている。
- ・子どものプリントへのコメントすばらしい。
- ・キャッチコピーは、毎時間の積み重ねがあった。子どもの書く力が高まっている。
- ・挙手なしの場合、指名する。または、意図的指名。

### [校長先生より]

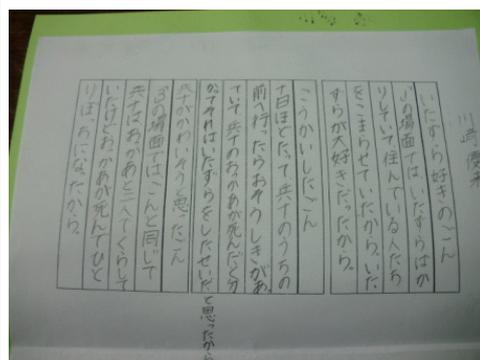
- ・子どもたちが、めあてに向かって精一杯努力している姿がすばらしかった。
- ・子ども発言に対して、一人一人価値づけしている。
- ・研究構想をよく具現化していた。
- ・本時だけではなく、毎時間の積み重ねが大切である。
- ・教師が示すのではなく、子どもたちが線を引いたところを、子どもたちから出させるようにしたい。
- ・「話合い」のねらいが大切である。  
考えををまとめる時間が大切  
すべての子が考えを出し合うこと  
机間指導による意図的指名が必要



【机間指導の様子】



【終末に音読する様子】



【児童が書いたキャッチフレーズ】

寺山先生へ  
三回目の授業研が終わり  
ました。成果もあり課  
題もあつた授業研でし  
た。とても大変な時期で  
したが、最後まで妥協せ  
ず、精一杯努力したこと  
が、一番の研修です。  
今後とも一緒にいろいろ  
学んでいきましょう。お  
疲れ様でした。  
(安河内)

